

カワイ ポピュラーピアノ グレードテスト 課題の捉え方・課題例

併せて、『カワイグレードテスト受験のために「課題例集」ポピュラーピアノ・ドリマトーン篇』（カワイ出版）をご参照ください。

【演奏グレード】

ポピュラー音楽を演奏するにあたっては、ピアノの基本的な演奏技術に加えて、ポピュラー音楽特有の和声感やリズム感などを体得することが求められる。カワイグレードテストにおける「カワイポピュラーピアノグレードテスト」では、それらの能力を総合的に問う。

●課題曲①＜6級・5級＞

ポピュラー音楽のピアノ演奏における演奏技術や表現力を問う。

●課題曲②＜6級・5級＞

ピアノを演奏する際の重要な要素のひとつである対旋律的な感覚や演奏技術を問う。そのため、各級にJ.S.バッハの楽曲を課題として設定する。

●自由曲＜4級・3級＞

受験者の意志による選曲により、得意とする領域で個性が充分に発揮され则认为、課題として設定する。

●メロディ＆ベース奏＜6級＞

コードネームとベースの関係を正しく認識し、演奏する能力を問う。

(例)

次のコードネームと冒頭のパターンに基づき、右手でメロディを、左手でベースを演奏しなさい。

Medium

C F6/C C G7/B Am Dm/A Am G

F G7/F Em Am7 Dm7 G7 Cmaj7

●コード＆ベース奏＜6級＞

コードネームを認識し、演奏する能力を問う。

適切な和音連結を施す能力を問う。

(例)

次のコードネームと冒頭のパターンに基づき、右手でコードを、左手でベースを演奏しなさい。

Medium

Gm7 C7 Fmaj7 Gm7 Gdim7 Am7 D7

カワイ ポピュラーピアノ グレードテスト 課題の捉え方・課題例

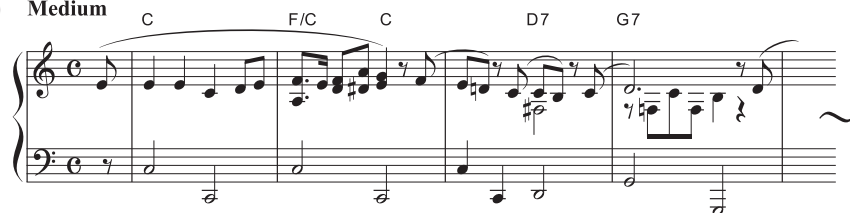
● 1 段譜演奏＜5 級・4 級・3 級＞

＜5 級＞

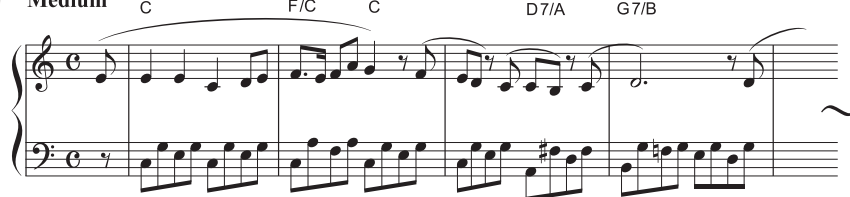
コードネームを認識し、演奏する能力を問う。

独自のスタイルで演奏する能力を問う。

(演奏例 1) Medium



(演奏例 2) Medium



＜4 級＞

コードネームを正しく認識し、演奏できるかを問う。

適切な和音連結を施す能力を問う。

即興的に演奏する能力を問う。

独自のスタイルで表現する能力を問う。

(例)

次のメロディ、コードネームに基づき、1 コーラス演奏しなさい。



＜3 級＞

コードネームを正しく認識し、演奏する能力を問う。

適切な和音連結を施す能力を問う。

即興的に演奏する能力を問う。

音楽の構成を捉え、アレンジする能力を問う。

独自のスタイルで表現する能力を問う。

ジャズワルツなど、求められているスタイルを表現する能力を問う。

(例)

次のメロディ、コードネームに基づき、アレンジを加えながら 2 コーラス演奏しなさい。



●弾き歌いく5級>

コードネームを認識し、演奏する能力を問う。

独自のスタイルで演奏する能力を問う。

伴奏しながら歌唱する能力を問う。

(例)

次のメロディ、コードネーム、冒頭のパターンに基づき、弾き歌いで演奏しなさい。

ただし歌い方は自由とする。

Andante

F maj7 F maj7 Gm C7

演奏例

F maj7 Bm7⁻⁵ Bbm6 Am7 Abdim7 Gm7 C7 F

●マイナスワン演奏<4級・3級>

アンサンブルの際に必要とされる他の演奏と合わせる能力を問う。

<4級>

他の演奏を捉え、まとまりのあるアンサンブルをする能力を問う。

<3級>

他の演奏を捉え、まとまりのあるアンサンブルをする能力を問う。

スタイルの特徴を正しく認識し、演奏する能力を問う。

編成の特徴を正しく認識し、演奏する能力を問う。

●移調伴奏<3級>

アンサンブルをするために必要とされる、即座に移調して演奏する能力を問う。

他の演奏に呼吸を合わせる能力を問う。

●オリジナルプログラム<2級>

演奏する力に加え、自らによるプログラムの構成により、演奏家としてどのように表現できるかを問う。

また、ポピュラー音楽に特有の和声感、リズム感、ビート感を問う。

カワイ ポピュラーピアノ グレードテスト 課題の捉え方・課題例

併せて、『カワイグレードテスト受験のために[課題例集]ポピュラーピアノ・ドリマトーン篇』(カワイ出版)をご参照ください。

【指導グレード】

●筆記＜6級＞

音楽の指導者として必要とされる知識を問う。

※課題例は省略する。

●和声＜6級・5級・4級＞

4声体和声における各声部の動きを理解する能力、ポリフォニックな音楽の流れを捉える能力を問う。

※課題例は「カワイピアノグレード 課題の捉え方・課題例」(P.26)を参照のこと。

●聴音＜6級・5級＞

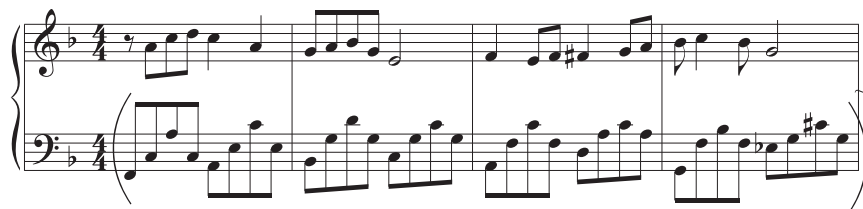
音楽の指導者として必要と思われる音楽の聴取能力、自然なコードプログレッションにおけるラインの聴取能力、また楽譜を正確に記述する能力を問う。

＜6級＞

ピアノ曲からメロディのみを聴き取る能力を問う。

(例)

ピアノ曲から、メロディのみを聴き取って五線譜に書きなさい。



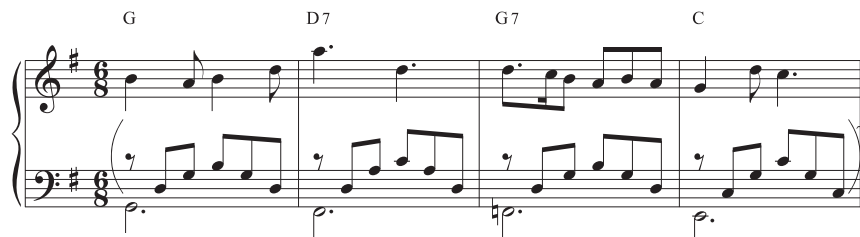
＜5級＞

ピアノ曲からメロディとベースを聴き取る能力、コードネームを捉える能力を問う。

(例)

ピアノ曲から、メロディ、ベース、コードネームを聴き取って大譜表に書きなさい。

(転回形の場合、ベース音を表記する必要はない)



【実施方法】＜6級・5級共通＞

調・拍子・主和音は直前に提示される。

1. 通 奏：1回

2. 前半のみ：3回

3. 通 奏：1回

4. 後半のみ：3回

5. 通 奏：1回

それぞれ15秒間隔。5. の終了後は1分間の回答時間を設ける。

●キーボード・アレンジ＜5級・4級＞

アレンジをするために必要とされる能力を問う。和声感や調性感を見きわめられるかを問う。

< 5 級 >

和音記号とコードネームを正しく認識しているかを問う。

適切な和音連結を施す能力を問う。

メロディ、和音記号、コードネームから適切な伴奏を導き出す能力を問う。

パターンから適切な伴奏形を導き出す能力を問う。

(例)

次の楽譜の「 」を満たして、全体を完成させなさい。

Andante

F: I III VI III¹ IV

C7/B $\flat$ Am7 Dm Gm7 C7 F

V³ III₇ VI II₇ V₇ I

< 4 級 >

和音記号とコードネームを正しく認識しているかを問う。

適切な和音連結を施す能力を問う。

メロディ、和音記号、コードネームから適切な伴奏やカウンターラインを導き出す能力を問う。

パターンから適切な伴奏形を導き出す能力を問う。

(例)

次の楽譜の[]を満たして、全体を完成させなさい。ただし、★のある[]にはカウンターラインを書きなさい。

Andante

G D7/A D7/F# G G7 Cmaj7 Am7 B7

mf *cresc.* *poco f*

G: I V₇² V₇¹ I V₇² IV₇ II₇ V₇¹

Em Emmaj7 Em7 A7 Am7 D7 G

mf ★ *p*

VI V₇² II₇ V₇² I

●編曲＜3級＞

メロディから適切な和音を導き出す能力を問う。

適切な和音連結を施す能力を問う。

形式や様式の特徴を理解し、アレンジをする能力を問う。

(例)

次のメロディをピアノ曲として1コーラスアレンジしなさい。速度、強弱、アーティキュレーション、コードネームを書くこと。前奏・後奏は自由。ただし、拍子とメロディは変えないこと。

The first system of the musical score for 'The Bird Song' consists of two staves. The top staff is in treble clef with a key signature of one sharp (F#) and a 3/4 time signature. It contains a melody starting on a whole note G4, followed by a half note A4, a quarter note B4, a quarter note C5, a half note D5, a quarter note E5, and a quarter note F#5. The bottom staff is in treble clef and contains a bass line starting on a whole note G3, followed by a half note A3, a quarter note B3, a quarter note C4, a half note D4, a quarter note E4, and a quarter note F#4. The system ends with a fermata over the final note.